

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン入間店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<p>道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン入間店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発		入口2か所にバス時刻表の掲示。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 ----- (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内に4か所、計400台分設置。	○	○	○
02 自転車の利用促進 ----- (03) その他自転車の利用を促進するための取組	店入口までスムーズに入れるように、一般道路から店敷地内への段差にはスロープを設置している。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (01) 低燃費車利用の啓発	施設利用者に広報等を活用し、低燃費車の利用促進を図る。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (02) 低燃費車利用者へのインセンティブの付与	普通充電器利用無料(WAONカード利用)	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	普通充電器、急速充電器の設置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	メイン道路信号機の場所に、繁忙期に交通警備員の配置。商品搬入の出入り口は、常時交通警備員の配置をしている。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場出入口の効果的な配置、入口専用・出口専用出入口の設定。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等 ----- (01) 荷物の宅配サービスの実施	お買い上げ商品において、持ち帰りが難しい大型商品や重い商品においては、「イオンの即日便」で宅配サービスを実施している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンネットスーパーで、毎日の生活に必要な食料品・日用品をご注文の皆さまへお届けするサービスを実施している。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール浦和美園・				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○	
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()</p>	<p>輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<p>道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()</p>	<p>イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。</p>	○	○	○
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()</p>	<p>長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。</p>	○	○	○
<p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()</p>	<p>運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール浦和美園・		
取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5
01	公共交通機関の利用促進 ----- (01) 公共交通機関利用の啓発	インフォメーションより、店内放送にて「電車やバスの公共交通機関ご利用」促進を定期的にアナウンスを実施する。	○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内に2400台の駐輪場を確保しており、これまで満車になったことがなく十分な広さを維持できている。	○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- (02) 自転車利用者へのインセンティブの付与	イオンバイクにて、毎月9日・19日・29日は「安全10項目点検」を実施している。	○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- (03) その他自転車の利用を促進するための取組	敷地内の駐輪場は年中無料で提供	○	○	○
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (01) 低燃費車利用の啓発	店内催事として、「エコドライブ」イベントを開催。無料のタイヤ空気圧点検やエコドライブシュミレーター体験、次世代自動車の展示。	○	○	○
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	急速充電機2台に加え、平成30年に普通充電機9台を増設した。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ()	アイドリングストップのポスターを店内・駐車場に掲示している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	平日3名、土日はその8倍～10倍の人員体制で敷地内外の駐車場に配置している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場出入口の効果的な配置、入口専用・出口専用出入口の設定、電光掲示による空きスペースへの誘導	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (04) その他渋滞防止策	・さいたまスタジアム2002にてサーカーイベントが開催され、かつ、周辺道路が極めて混雑した場合、ゲートバー策を講じている。 ・敷地内駐車場における出口案内や駐車場出口における方面の案内を実施している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	平成30年より即日便サービス(「とどくんです。」)を開始し、店舗内入口に専用カウンターを設置した。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	平成30年よりイオンのネットスーパーの受注枠を拡大するとともに、店頭受け取りサービスを開始した。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (03) 宅配サービスに伴う二酸化炭素削減の取組	配送効率の向上による配送回数の削減等での二酸化炭素を削減する。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大井店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○
01	荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。			○	○	○
02	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。			○	○	○
03	物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ()	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。			○	○	○
04	積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<p>道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大井店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発	電車・バスの時刻表の掲示			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 ----- (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内の自転車置き場の整理、駐輪スペースの確保	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (01) 低燃費車利用の啓発	施設利用者に広報等を活用し、低燃費車の利用促進を図る。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	普通充電器、急速充電器の設置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	土日・祝祭日、年末年始については、交通誘導員を配置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場出入口の効果的な配置、入口専用・出口専用出入口の設定。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (04) その他渋滞防止策	祭りやイベントなどにより渋滞が予想される場合には、誘導員の増員や開催関係者と協力体制を取っています。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (01) 荷物の宅配サービスの実施	購入した商品の即日配達サービスや大型商品の専門配送を実施しています。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	ネットスーパーによるインターネット注文、販売を行っています。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (03) 宅配サービスに伴う二酸化炭素削減の取組	当日、出庫時にお届け先への再確認を実施しています。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大宮店	R3	R4	R5	
取組措置		具体的取組措置					
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○	
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()</p>	<p>輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<p>道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用</p> <p>()</p>	<p>イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。</p>	○	○	○
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進</p> <p>()</p>	<p>長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。</p>	○	○	○
<p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減</p> <p>()</p>	<p>運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大宮店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	公共交通機関の利用促進 ----- (01) 公共交通機関利用の啓発	店頭出入口にバスの時刻表を掲示している。			○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内に駐輪場を2箇所1,230台を整備している。			○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- (02) 自転車利用者へのインセンティブの付与	1Fサイクル売場内に、お客さま用の無料空気入れを設置			○	○	○
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	駐車場内に電気自動車の急速充電ステーション1台を設置している。また、普通充電1台も設置。			○	○	○
05	駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	土・日・祝日、特定のセール日には、出入口に交通整理員を配置している。			○	○	○
05	駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場出入口の効果的な配置、入口専用・出口専用出入口の設定			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (04) その他渋滞防止策	駐車場出口に方面の案内看板を設置している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	お買い上げ商品において、持ち帰りが難しい大型商品や重い商品においては、「イオンの即日便」で宅配サービスを実施している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンネットスーパーで、毎日の生活に必要な食料品・日用品をご注文のお客さまへお届けするサービスを実施している。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン大宮西店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内に駐輪場を5か所設置			○	○	○	
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	地下駐車場に電気自動車用充電器を整備(2箇所)			○	○	○	
04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ()	アイドリングストップのお願い等の店内放送実施			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	渋滞緩和のため車両が多い時間帯に入口へ配置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (04) その他渋滞防止策	周辺へ、交通案内看板を設置	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (01) 荷物の宅配サービスの実施	お買い上げ商品において、持ち帰りが難しい大型商品や重い商品においては、「イオンの即日便」で宅配サービスを実施している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンネットスーパーで、毎日の生活に必要な食料品・日用品をご注文のお客さまへお届けするサービスを実施している。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン春日部店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○	
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認</p>	<p>定期報告書により提出を確認している。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定</p> <p>(02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認</p>	<p>イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>03 物流拠点の活用による輸配送の効率化</p> <p>()</p>	<p>輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化</p> <p>(01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化</p> <p>(02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化</p> <p>(03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化</p> <p>(01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	<p>○</p>	<p>○</p>	<p>○</p>

自動車地球温暖化対策実施方針

05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン春日部店	R3	R4	R5	
取組措置		具体的取組措置					
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発	バス路線図の掲示とバス時刻表の無料配布			○	○	○	
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	ショッピングセンター敷地内に820台分の駐輪場を設置しています			○	○	○	
02 自転車の利用促進 (02) 自転車利用者へのインセンティブの付与	3ヶ所に「無料の空気入れ」を設置しています			○	○	○	
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	駐車場内2ヶ所に電気自動車用充電器を設置			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ()	アイドリングストップ宣言やエコ・ドライブポスターを掲示し啓蒙	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	日曜祝日に交通誘導警備員の配置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場出入口の効果的な配置、入口専用・出口専用出入口の設定、電光掲示による空きスペースへの誘導	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (04) その他渋滞防止策	混雑時に敷地一部を臨時駐車場として開放	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	即日便にて当日お買い上げ品の宅配実施、お中元・お歳暮・母の日等金額設定での無料配送の実施	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	食品を中心にネットスーパーにてインターネット販売を実施	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン春日部店			
	取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5

自動車地球温暖化対策実施方針

01 マイカー通勤に係る重点目標の設定 ()	マイカー通勤の条件を設定、条件を満たした場合のみマイカー通勤を許可	○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 (01) 公共交通機関利用促進のための情報提供	従業員通用口にバス時刻表を提示、利便性向上の確保継続維持	○	○	○
02 公共交通機関への転換の推進 (03) 公共交通機関利用者への優遇策	公共交通機関利用者の通勤手当は社内規定により運用	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (01) 自転車の安全利用の促進	自転車通勤者へ(埼玉県条例に沿った)「賠償責任保険加入」を促進	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	従業員通用口近辺に駐輪場を設置	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (03) 駐輪場以外の自転車通勤者向け設備の設置・維持管理	更衣室スペースは確保設置	○	○	○
03 自転車への転換の推進 (04) 自転車通勤者への優遇策	社内規定により「自転車通勤者」への交通費支給	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 時差通勤の実施 ()	開店前から閉店後の作業まで、業務に合わせて勤務時間を計画、勤務時間に合わせた時差通勤の実施。	○	○	○
-------------------	--	---	---	---

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン川口前川店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○	
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。			○	○	○	
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化</p> <p>(01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化</p> <p>(02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化</p> <p>(03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化</p> <p>(01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化</p> <p>(02) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<p>道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化</p> <p>(03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン川口前川店			
	取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5

自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 ----- (01) 公共交通機関利用の啓発	店舗HP及びフロアガイド、イオンモール川口前川のチラシで公共交通機関のご案内を実施。	○	○	○
02 自転車の利用促進 ----- (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	駐輪台数:約1,700台の駐輪場の設置。	○	○	○
02 自転車の利用促進 ----- (02) 自転車利用者へのインセンティブの付与	無償で利用できる空気入れの設置。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (01) 低燃費車利用の啓発	施設利用者へ広報等を活用し、低燃費車の利用促進を図る。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	1階平面P4駐車場に急速充電器:1台、普通充電器:1台 4階立体駐車場Bゾーンに普通充電器:10台	○	○	○
04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ----- ()	駐車場内にアイドリングストップ啓蒙ポスター掲示実施。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	曜日・時間帯の混雑状況に応じて交通警備員配置。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場事前精算機の設置。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (01) 荷物の宅配サービスの実施	即日便の実施。母の日、父の日、お中元、お歳暮ギフト等2,500円以上の商品無料配送サービス実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	ネットスーパーで受付、宅配サービス実施。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社		事業所名	イオン北浦和店			
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○	
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認</p>	<p>イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。</p>	○	○	○
<p>03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()</p>	<p>輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<p>道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()</p>	<p>イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。</p>	○	○	○
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()</p>	<p>長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。	○	○	○
----------------------------------	--	---	---	---

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社		事業所名	イオン北浦和店		
取組措置	具体的取組措置			R3	R4	R5
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	ご来店のお客さま用の駐輪場の設置			○	○	○
02 自転車の利用促進 (02) 自転車利用者へのインセンティブの付与	無料空気入れを設置			○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	お買い上げ商品において、持ち帰りが難しい大型商品や重い商品においては、「イオンの即日便」で宅配サービスを実施している。			○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (03) 宅配サービスに伴う二酸化炭素削減の取組	即日便を利用されるお客さまには配達時間のご案内をしている。			○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社		事業所名	イオン熊谷店		
取組措置	具体的取組措置			R3	R4	R5

自動車地球温暖化対策実施方針

01 公共交通機関の利用促進 ----- (01) 公共交通機関利用の啓発	店内放送での呼びかけ	○	○	○
02 自転車の利用促進 ----- (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	駐輪場の設置および維持管理	○	○	○
02 自転車の利用促進 ----- (02) 自転車利用者へのインセンティブの付与	サイクル売場での空気入れ設置(無料)	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (01) 低燃費車利用の啓発	施設利用者へ広報等を活用し、低燃費車の利用促進を図る。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (02) 低燃費車利用者へのインセンティブの付与	普通充電器利用無料(WAONカード利用)	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	普通充電器無料、高速充電器の設置	○	○	○
04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ----- ()	アイドリングストップ啓発ポスター、店内放送	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	時間帯別に出入り口に配置し、交通誘導を実施	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場出入口の効果的な配置、入口専用・出口専用出入口の設定	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (04) その他渋滞防止策	店舗周辺道路へ駐車場出入り口の交通案内看板設置	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンのオンラインショッピングサイトを展開	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン狭山店		
取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5
01 公共交通機関の利用促進 (03) 最寄り駅等からの送迎バスの運行やバス停の設置		狭山市駅からの無料シャトルバスの運行	○	○	○
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理		正面入口の新設駐輪場含め500台駐輪可能	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (01) 低燃費車利用の啓発	施設利用者に広報等を活用し、低燃費車の利用促進を図る。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	普通充電器無料、急速充電器の設置	○	○	○
04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ----- ()	アイドリングストップポスター掲示、アイドリングストップの店内放送実施	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	土曜日・日曜日及び繁忙日に配置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	ナンバー読み取りの有料駐車方式、事前精算機の設置	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (04) その他渋滞防止策	安全カメラ監視による事前渋滞を把握する措置	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンスタイル上尾			
	取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5

自動車地球温暖化対策実施方針

01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。	○	○	○
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。	○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。	○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。	○	○	○
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンスタイル上尾				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発	バス時刻表の掲示。			○	○	○	
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内の多箇所に駐輪場設置。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 ----- (03) その他自転車の利用を促進するための取組	店入口までスムーズに入れるように、一般道路から店敷地内への段差にはスロープを設置している。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (01) 低燃費車利用の啓発	施設利用者には広報等を活用し、低燃費車の利用促進を図る。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (02) 低燃費車利用者へのインセンティブの付与	充電器利用時にWAONポイント付与	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	普通充電器、急速充電器の設置	○	○	○
04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ----- ()	啓蒙ポスターの掲示	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	メイン道路信号機の場所に、繁忙期に交通警備員の配置。商品搬入の出入り口は、常時交通警備員の配置をしている。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場出入口の効果的な配置、入口専用・出口専用出入口の設定、電光掲示による空きスペースへの誘導	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等 ----- (01) 荷物の宅配サービスの実施	お買い上げ商品において、持ち帰りが難しい大型商品や重い商品においては、「イオンの即日便」で宅配サービスを実施している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンネットスーパーで、毎日の生活に必要な食料品・日用品をご注文の お客さまへお届けするサービスを実施している。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンスタイル川口店	R3	R4	R5	
取組措置		具体的取組措置					
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○	
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()</p>	<p>輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<p>道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用</p> <p>()</p>	<p>イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。</p>	○	○	○
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進</p> <p>()</p>	<p>長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。</p>	○	○	○
<p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減</p> <p>()</p>	<p>運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンスタイル川口店	R3	R4	R5	
取組措置		具体的取組措置					
01	公共交通機関の利用促進 ----- (01) 公共交通機関利用の啓発	バス時刻表の掲示。			○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内の多箇所に駐輪場設置。			○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- (03) その他自転車の利用を促進するための取組	店入口までスムーズに入れるように、一般道路から店敷地内への段差にはスロープを設置している。			○	○	○
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (01) 低燃費車利用の啓発	施設利用者に広報等を活用し、低燃費車の利用促進を図る。			○	○	○
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (02) 低燃費車利用者へのインセンティブの付与	充電器利用時にWAONポイント付与			○	○	○
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	普通充電器、急速充電器の設置			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ()	啓蒙ポスターの掲示	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	メイン道路信号機の場所に、繁忙期に交通警備員の配置。商品搬入の出入り口は、常時交通警備員の配置をしている。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場出入口の効果的な配置、入口専用・出口専用出入口の設定、電光掲示による空きスペースへの誘導	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	お買い上げ商品において、持ち帰りが難しい大型商品や重い商品においては、「イオンの即日便」で宅配サービスを実施している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンネットスーパーで、毎日の生活に必要な食料品・日用品をご注文のお客さまへお届けするサービスを実施している。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール北戸田・イオンスタイル北戸田				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。	○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。	○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。	○	○	○
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール北戸田・イオンスタイル北戸田				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発	・店内入口にバス時刻表掲示、サービスカウンター案内 ・店舗近隣JR各駅よりシャトルバスを発着。			○	○	○	
01 公共交通機関の利用促進 (03) 最寄り駅等からの送迎バスの運行やバス停の設置	・戸田公園駅東口、戸田駅入口、武蔵浦和駅西口の3か所よりイオンモール北戸田まで無料送迎バス運行。(土・日・祝・15日・20日・30日)			○	○	○	
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	・駐輪場全館1,000台収容可能。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 ----- (02) 自転車利用者へのインセンティブの付与	・イオンバイクにて無償利用出来る空気入れの設置。	○	○	○
02 自転車の利用促進 ----- (03) その他自転車の利用を促進するための取組	・駐輪場平面 主要各入口近辺に設置、イオンバイク売場にて各種修理、保険加入の促進。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (01) 低燃費車利用の啓発	施設利用者へ広報等を活用し、低燃費車の利用促進を図る。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (02) 低燃費車利用者へのインセンティブの付与	・電気自動車 普通・急速充電器、WAONでの支払いでWAON POINT付与。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	・2017年に普通充電器設備を7台増設、(急速、1台・普通、8台)計:9台の設置。	○	○	○
04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ----- ()	・駐車場各箇所、【アイドリングストップ】サインの設置。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	・平日・土日・祝日に応じ来店客を予測し、適正配置。 ・交通警察員によりスムーズな誘導	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	・各駐車場出口にパトライトの設置。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (01) 荷物の宅配サービスの実施	・社会行事(中元・歳暮・母の日等)お買上げ金額により配送料無料サービス実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	・食品等のネットスーパーでインターネット販売。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンスタイルふじみ野				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○	
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。	○	○	○
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()</p>	<p>イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。</p>	○	○	○
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()</p>	<p>長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。	○	○	○
----------------------------------	--	---	---	---

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンスタイルふじみ野			
取組措置	具体的取組措置			R3	R4	R5
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発	バス時刻表の掲示。			○	○	○
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内の多箇所に駐輪場設置。			○	○	○
02 自転車の利用促進 (03) その他自転車の利用を促進するための取組	店入口までスムーズに入れるように、一般道路から店敷地内への段差にはスロープを設置している。			○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (01) 低燃費車利用の啓発	施設利用者に広報等を活用し、低燃費車の利用促進を図る。			○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (02) 低燃費車利用者へのインセンティブの付与	充電器利用時にWAONポイント付与			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	普通充電器、急速充電器の設置	○	○	○
04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ----- ()	啓蒙ポスターの掲示	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	メイン道路信号機の場所に、繁忙期に交通警備員の配置。商品搬入の出入り口は、常時交通警備員の配置をしている。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場出入口の効果的な配置、入口専用・出口専用出入口の設定、電光掲示による空きスペースへの誘導	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (04) その他渋滞防止策	駐車場の利用者に対して、混雑のおりは、臨時交通警備員を配置いたし、渋滞緩和をするよう誘導している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (01) 荷物の宅配サービスの実施	お買い上げ商品において、持ち帰りが難しい大型商品や重い商品においては、「イオンの即日便」で宅配サービスを実施している。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 ----- (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンネットスーパーで、毎日の生活に必要な食料品・日用品をご注文のお客さまへお届けするサービスを実施している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンせんげん台店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01	公共交通機関の利用促進 ----- (02) 公共交通機関利用者へのインセンティブの付与	せんげん台店⇒武里団地方面⇒せんげん台駅⇒せんげん台店 せんげん台店⇒大袋方面⇒せんげん台店 の2ルート運行			○	○	○
02	自転車の利用促進 ----- (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	ご来店のお客さまにご利用いただく駐輪場の設置			○	○	○
05	駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	毎日駐車場出入口に交通誘導員を配置している			○	○	○
05	駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	混雑時は出口ゲートを開放し渋滞の緩和に対応している			○	○	○
06	宅配サービスの実施等 ----- (01) 荷物の宅配サービスの実施	即日便 当日12時(一部15時)まで受付し14時～20時配達、料金100円～			○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン新座店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5

自動車地球温暖化対策実施方針

01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。	○	○	○
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。	○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。	○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 ----- (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。	○	○	○
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ----- ()	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 ----- (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減 を実施する。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化</p> <p>(03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化</p> <p>(01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化</p> <p>(02) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<p>道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化</p> <p>(03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進</p> <p>(03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン新座店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
02 自転車の利用促進 (07)		820台の駐輪場を確保			○	○	○
02 自転車の利用促進 (02) 自転車利用者へのインセンティブの付与		一定時間の駐輪場の無料駐輪サービスを提供する			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	土日は交通誘導員を配置し交通誘導を実施	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	事前精算機の設置	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	買上げ商品の配達サービス	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	食品を中心にネットスーパーにてインターネット販売を実施	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (03) 宅配サービスに伴う二酸化炭素削減の取組	受注時に配達日及び配達時間について確認	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン羽生店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施</p>	<p>社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。</p>	○	○	○
<p>02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認</p>	<p>定期報告書により提出を確認している。</p>	○	○	○
<p>02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認</p>	<p>イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。</p>	○	○	○
<p>03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()</p>	<p>輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 ----- (03) 輸送車両の待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 ----- (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン羽生店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発	バス路線・時刻表をフロアガイドに記載し無料配布 公共交通機関等の利用についてHPに掲載			○	○	○	
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	敷地内に600台駐輪場を完備			○	○	○	
02 自転車の利用促進 (02) 自転車利用者へのインセンティブの付与	無料駐輪、無料の空気入開放の実施			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 （02）低燃費車利用者へのインセンティブの付与	電気自動車の充電できる設備を設置	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 （03）電気自動車用充電器等の整備	充電ステーション設置済	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 （01）交通整理員の配置	土日祝日、セールス時、警備員配置し交通誘導を実施	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 （02）スムーズな入出庫のための施設の整備	周辺道路の渋滞緩和のため、出入口の幅、進行方向に配慮している。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 （04）その他渋滞防止策	土日祝日、セールス時、誘導看板の設置	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 （01）荷物の宅配サービスの実施	お中元・お歳暮・母の日等2500円以上無料配送実施	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 （02）インターネット等を利用した物品販売の促進	ネットスーパーの拡大(増便)	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等 ----- (03) 宅配サービスに伴う二酸化炭素削減の取組	受注時に配達日及び配達時間の指定確認	○	○	○
--	--------------------	---	---	---

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオン羽生店	R3	R4	R5	
取組措置		具体的取組措置					
01	マイカー通勤に係る重点目標の設定 ----- ()	マイカー通勤率を3%削減する。			○	○	○
02	公共交通機関への転換の推進 ----- (01) 公共交通機関利用促進のための情報提供	後方にバス時刻表の掲示			○	○	○
02	公共交通機関への転換の推進 ----- (02) 送迎バス等の運行	公共バスの運行			○	○	○
02	公共交通機関への転換の推進 ----- (03) 公共交通機関利用者への優遇策	最終便は、従業員入口に停車			○	○	○
03	自転車への転換の推進 ----- (01) 自転車の安全利用の促進	安全衛生委員会の議題とする。			○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

03 自転車への転換の推進 ----- (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	従業員駐輪場の完備	○	○	○
03 自転車への転換の推進 ----- (04) 自転車通勤者への優遇策	2km以上自転車通勤者に対し月700円補助	○	○	○
04 その他マイカー通勤を削減するための取組 ----- (05) 啓発活動の実施	従業員用掲示版に啓蒙ポスターを掲示する。	○	○	○
05 エコドライブの推進 ----- (01) エコドライブの啓発	後方通路のアイドリングストップ宣言の啓蒙ポスター掲示	○	○	○
07 時差通勤の実施 ----- ()	開店前から閉店後の作業まで、業務に合わせて勤務時間を計画、勤務時間に合わせた時差通勤の実施。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール与野・イオン与野店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 ----- (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。	○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。	○	○	○
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。	○	○	○
03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()	輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上	①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組	輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減 を実施する。	○	○	○
04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注	在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し	道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。	○	○	○
05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請	年2回イオン環境車両研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車両には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請	エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施	車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。	○	○	○
07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組	商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()	イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。	○	○	○
09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()	長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。	○	○	○
10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()	運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンモール与野・イオン与野店				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 公共交通機関の利用促進 (01) 公共交通機関利用の啓発	バス時刻表を店内掲示。サービスカウンターにて案内。			○	○	○	
01 公共交通機関の利用促進 (03) 最寄り駅等からの送迎バスの運行やバス停の設置	22時～23時30分まで4便(イオンモール与野～北与野駅～さいたま新都心駅)の運行をしている			○	○	○	
02 自転車の利用促進 (01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理	1,200台の駐輪場を確保。 不要自転車の撤去を定期的実施し、駐輪スペースの確保をしている。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進 ----- (02) 自転車利用者へのインセンティブの付与	無料の空気入れをイオンバイク外売場に設置。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (01) 低燃費車利用の啓発	店内催事として、「エコドライブ」イベントを開催。無料のタイヤ空気圧点検やエコドライブシュミレーター体験、次世代自動車の展示。	○	○	○
03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 ----- (03) 電気自動車用充電器等の整備	2014年7月から電気自動車充電器(急速1台、普通1台)を設置。 2018年2月より11台普通充電器増設。	○	○	○
04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ----- ()	店内催事として、「エコドライブ」イベントを開催。無料のタイヤ空気圧点検やエコドライブシュミレーター体験、次世代自動車の展示。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (01) 交通整理員の配置	警備員を配置して、交通誘導を実施。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場出入口の効果的な配置、入口専用・出口専用出入口の設定、電光掲示による空きスペースへの誘導	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 ----- (04) その他渋滞防止策	周辺イベント会場のイベント内容を把握し、混雑の可能性のある導線からの出庫を抑制し混雑緩和対策を行っている。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	当日配送便(1箱300円)として近隣への宅配サービスの承りを実施。お中元・お歳暮・母の日等、2,500円以上のお買い上げにて無料配送実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	イオンネットスーパーで、毎日の生活に必要な食料品・日用品をご注文のお客様へお届けするサービスを実施している。	○	○	○

《 1 大規模荷主 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンレイクタウンmori・イオンスタイルレイクタウン				
取組措置		具体的取組措置			R3	R4	R5
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (01) 二酸化炭素排出量の把握及び課題等の抽出	業務を委託している事業者から輸配送実績報告を受けている。燃料法、燃費法、トンキロ法による計算式を用いて二酸化炭素排出量を、改正省エネ法の定期報告書の基準で集約把握している。二酸化炭素排出量については、四半期毎のマネジメントレビューにて課題の抽出を行っている。			○	○	○	
01 荷主の物流部門における二酸化炭素排出量の把握 (02) 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有及び改善のための取組実施	社内の関係部門及び輸送の協力会社で連絡会議等を通じて情報を共有し、CO2削減に向けた取組を検討している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (01) 貨物輸送事業者に対する法令上提出の義務がある運輸部門の二酸化炭素排出量削減に係る計画の提出確認	定期報告書により提出を確認している。			○	○	○	
02 環境に配慮している貨物輸送事業者の選定 (02) 貨物輸送事業者の環境配慮の確認	イオンG物流機能会社であるイオングローバルSCM(株)を通して、貨物輸送事業者に対して環境関連条例(自動車Nox・PM法等)に適合した車輛の使用やISO14001、グリーン経営認証等の取得状況を確認している。			○	○	○	

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>03 物流拠点の活用による輸配送の効率化 ()</p>	<p>輸送距離を短縮するため、最適な物流ネットワークの構築をめざし、物流センターの整備を行っている。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (01) 商品・荷姿・梱包資材の形状の標準化や軽量化等による積載率の向上</p>	<p>①常温:パレット、オリコン ②低温:標準クレート ※PB商品:商品のモジュール化(T11型パレット対応)し積載効率向上を図る。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (02) 混載便の利用や共同輸配送の取組</p>	<p>輸送効率向上のため共同輸配送・混載取組みを推進として、①アパレル商品の共同配送センターによる共同輸送の取組み、②配送時間の調整により2店舗混載により便数を削減を実施する。</p>	○	○	○
<p>04 積載率の向上による輸配送の効率化 (03) 輸送量及び積載率を考慮した適正車種での発注</p>	<p>在庫型商品の調達物流において、輸送量に応じた適正車種を指定して発注。FTL(フルトラック)やFTC(フルコンテナ)になるように発注。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (01) 発注時間及び配送時間のルール化</p>	<p>発注時間、センター業務開始時間をセンター毎にルール化。配送時間は店舗毎にルール化している。 また、出発時間の周知徹底(構内表示等による)をしている。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (02) 道路混雑時の輸配送の見直し</p>	<p>道路混雑時の出発時間及び経路等の見直しによる輸配送の円滑化を図る。</p>	○	○	○
<p>05 計画的な貨物輸送による輸配送の効率化 (03) 輸送車両の待ち時間の削減</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (01) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車又は省エネルギー支援機器搭載車(以下、「低燃費車等」)の利用要請</p>	<p>年2回イオン環境車輛研究会を実施し、低燃費車導入を要請、導入状況進捗確認を実施。研究会では、トラックメーカーの天然ガス車、ハイブリッド車開発、架装メーカーやタイヤメーカー等、各メーカーの取り組みや最新情報などを委託先である輸送事業者と共有している。店舗配送車輛には、省エネルギー支援機器(指定機器)搭載を委託要件としている。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (02) 貨物輸送事業者に対する、エコドライブの実施要請</p>	<p>エコドライブ推進のため、トラックメーカー協力の下、当社の物流拠点においてエコドライブ講習を実施している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (03) 貨物輸送事業者に対する、低燃費車等の利用状況やエコドライブの実施状況の確認、改善に向けた取組の実施</p>	<p>車載機により危険運転動態を把握し、エコドライブ実施者を毎月表彰している。年度末には、条件をクリアした年間優秀ドライバーを選定し表彰している。</p>	○	○	○
<p>07 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの促進 (04) 周辺道路への路上駐停車及び構内アイドリング防止のための取組</p>	<p>商品の店着時間内に配送されるようスケジュール化し、輸送トラックの待ち時間がないよう計画している。</p>	○	○	○
<p>08 サードパーティーロジスティクスの活用 ()</p>	<p>イオングループは、物流の機能会社であるイオングローバルSCM(株)に物流機能を委託し、サードパーティーロジスティクスを実施している。</p>	○	○	○
<p>09 共同輸配送も視野に入れたモーダルシフトの推進 ()</p>	<p>長距離幹線輸送において、鉄道や海運によるモーダルシフトを推進。</p>	○	○	○
<p>10 ICTを活用した自動車排出温室効果ガスの削減 ()</p>	<p>運行管理システムで管理し、最適な配送ルートを指示している。また、高速道路情報のリアルタイム把握の実施、渋滞の少ない時間帯(夜間、早朝)に配送時間を設定できるよう調整している。</p>	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	イオンレイクタウンmori・イオンスタイルレイクタウン		
取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5
01	公共交通機関の利用促進	店内放送での、公共交通機関利用の呼びかけ。	○	○	○
(01)	公共交通機関利用の啓発				
01	公共交通機関の利用促進	電車でご来店のお客さまにグリーンスコアを付与。	○	○	○
(02)	公共交通機関利用者へのインセンティブの付与				
01	公共交通機関の利用促進	最寄駅から店舗までの無料バスの運行実施。	○	○	○
(03)	最寄り駅等からの送迎バスの運行やバス停の設置				
02	自転車の利用促進	駐輪台数3,140台の確保。	○	○	○
(01)	十分な広さの駐輪場の設置・維持管理				
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進	施設利用者へ広報等を活用し、低燃費車の利用促進を図る。	○	○	○
(01)	低燃費車利用の啓発				
03	来場者が利用する自動車の低燃費化促進	普通・急速充電器利用時にWAONポイント付与	○	○	○
(02)	低燃費車利用者へのインセンティブの付与				

自動車地球温暖化対策実施方針

03 来場者が利用する自動車の低燃費化促進 (03) 電気自動車用充電器等の整備	電気自動車の急速充電ステーションの設置、急速充電器2機、普通充電器22機。	○	○	○
04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発 ()	アイドリングストップ等の啓発ポスターの掲示。	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (01) 交通整理員の配置	交通整理員によるスムーズな誘導を実施	○	○	○
05 駐車場及び施設周辺道路の渋滞防止 (02) スムーズな入出庫のための施設の整備	駐車場入口混雑状況のご案内実施、各方面からの一番便利な駐車場入口や駐車場情報をご案内。出庫の際、電子マネーWAON使用可。2018年11月より混雑緩和のためオーバブリッジを設置、開通	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (01) 荷物の宅配サービスの実施	・社会行事(中元・歳暮・母の日等)お買上げ金額により配送料無料サービス実施。	○	○	○
06 宅配サービスの実施等 (02) インターネット等を利用した物品販売の促進	・食品等のネットスーパーでインターネット販売。	○	○	○

《 2 大規模集客施設 》

事業者名	イオンリテール株式会社	事業所名	ザ・ビッグ八潮南店			
	取組措置		具体的取組措置	R3	R4	R5

自動車地球温暖化対策実施方針

02 自転車の利用促進	ご来店のお客さまの駐輪場を設置	○	○	○
(01) 十分な広さの駐輪場の設置・維持管理				
04 来場者に対するアイドリング・ストップを含むエコドライブの啓発	アイドリングストップのお願い等の店内放送実施	○	○	○
()				
06 宅配サービスの実施等	イオンのオンラインショッピングサイトを展開	○	○	○
(02) インターネット等を利用した物品販売の促進				